

【研修プロジェクトーホストファミリーから見る多民族社会オーストラリア】

由来	中国系	イギリス系	中国系	中国系	アラビア系		スコットランド系	スペイン系	インドネシア系	イングランド系	スロベニア系	ギリシャ系	アルバニア系
出生国	マレーシア	オーストラリア	オーストラリア（両親はインドネシア生まれ、中国系、日系、インドネシア系、オランダ系）	マレーシア	アフガニスタン	フィリピン	シンガポール	フィリピン	インドネシア	フィジー	シドニー生まれだが、両親は1952年と1954年に移住してきた。	ギリシャ	オーストラリア生まれ。父がアルバニア、母がクロアチア
移住時期	30年前			30年	44年	40年		33年	14歳の時に移住し34年目。	20年前		62年	1968年、オペラハウスの建設のために多くの人が移住してきたが、ホストの家族も鉄鋼関係を得て建設に関わった。
使用可能言語数	3	1	2	3	3	3	2	3	4	2	5	3	3
	広東語、英語、マレー	英語	英語、インドネシア語	広東語	英語、ベルシャ語	英語、フィリピン語、スペイン語	英語、マレー語	英語、タガログ語、スペイン語	英語、インドネシア語、アラビア語、フランス語	英語、フィジー語	英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、スロベニア語。語学教師。第一言語はスロベニア語。	ギリシャ語、イタリア語、英語	英語、クロアチア語、ドイツ語
オーストラリアの生活になじむことに困難はあったか	なし	いいえ	生まれも育ちもオーストラリアなので、私にとってはここが習慣は当然のことと感じる。両親は最初の頃、言葉や文化の違いで苦労したようだが友人やコミュニティのおかげで、すっかり溶け込み生まれ故郷よりも愛着を持つようになった。	地域社会の行事に参加してきた。少し時間はかかったがうまくいっている。	はい。母国と非常に異なっていた。	最初のころは感じたが長い間になじんできました。	いいえ、シンガポールはオーストラリアとよく似ていたから。	はい。文化の違い、友達がいらない、家族と離れたて一人生活を始めたてはならなかった。	はい。言葉や文化、食べ物が違っていた。	いいえ、フィジーでは英語で教育を受けるから。ホストファーザーはアメリカで中学校へ通った。	いいえ。ここで育ったので。	全くなかった。小さい頃に来たので。	母親が英語を話せなかったので助けてもらえなかった。
オーストラリア社会は多様性を尊重していると思うか	そう思う。豪政府が多くの国からの人を受け入れている。	そう思う。多くの国籍の人がいるから。	そう思う。オーストラリアは多様性を尊重している。ただし、簡単なことではないので、教育制度の中で教育することが必要である。オーストラリアは本当に様々な文化や世界中から来た人たちがいるので、社会がうまく機能し、人々が安全で幸福に暮らすためには、異なる背景を持つ人を尊重することができるようにならなくてはならない。	多様性の受容度は他国よりも高いと思う。	まあまあ。他の国から来た人を嫌う人もいる。	もちろん。オーストラリアは多文化国家だと思う。	多様な文化習慣を持つ様々な国からやってきた人々がいる。	オーストラリア社会は多文化国家で互いの信条を尊重し、他国から人を歓迎し、様々な習慣を受け入れている。また多様な人種を受け入れ、文化、宗教を尊重しており、機会が誰にでも与えられている。	はい。多様な人種を受け入れ、それらの人が一緒に暮らしている社会である。	地域によってことなる。	私が子供の頃と比べて非常に良くなっている。	はい。みんな英語を話す。	はい。LGBTなどなんでもOKだから。ただ中にはそうで無い人もいる。
民族的なアイデンティティを維持することは困難か	いいえ	いいえ	両親がアジアとオーストラリアの文化の両方を大切にするように教えてくれたので、難しいとは思わなかった。どちらの文化にも長所と短所があるので、どちらの文化からもいいところを身に着けるようにという教えを受けた。	そうは思わない。体に染みついたものであるし、先祖から受け継いだものは続いていく。	いいえ、周りの人が私を受け入れてくれている。	いいえ。	長い間暮らしているのでよくわからない。	いいえ、オーストラリアに溶け込んでいる多くのフィリピン人がいる。	いいえ。多様な人種を受け入れる国だから。	毎年、フィジーに帰るから困難は感じない。		いいえ。	いいえ。
オーストラリア社会は機会が与えられる国だと思いますか	？	はい。政府が国民を管理しないから。	オーストラリアは一生懸命働く意志のある人にとっては多くのチャンスがある国。豊かな国であるので誰にとっても多くの機会がある。	個人を非常に尊重する国であると思う。	はい。母国と非常に異なっていた。ほとんどのオーストラリア人は協力的で、すばらしいことだと思う。	経済基盤があり、就業の機会がある。平等の国だと思う。	はい。若い国であるし就業の機会が多い。言論の自由もある。	人種、性別、年齢、宗教、習慣、能力にかかわらずお互いを助け合うことを大切にしている社会で機会が多く与えられた国である。自分で努力すればそこに機会は開かれる。	はい。良質な教育の機会が与えられている。	はい。収入を得るためにオーストラリアに来て、セキュリティの仕事をしている。	とてもそう思う。地域社会で語学の授業などいろんな機会が用意されていた。大人になってからはラジオ放送や語学教師として活動を手伝った。	はい。	はい。オープンで自由で安全な国。階級がない。天候もいい。
自由質問 1	英語をどうやって学んだか	日本について知っていること？		オーストラリアにおける日本人の印象は？	オーストラリアの一番いいところは	オーストラリアの文化をどう思うか	仕事は	オーストラリア社会のいいところ	海外出張にはどの程度でかけるか	日本のいいところ	自分の名前を気に入っているか	好きな料理	ペットのことをどう思う
自由質問 1 回答	本を読んだり、テレビを見て。大学でも英語やほかの言語を学ぶようにアドバイスされた。	車や電気製品や文化。日本車が好き。		年配を敬う。清潔好き。多様な料理がある。すばらしい文化・習慣	気候	とてもよい。日本人と同じくらい親切で、道を聞いても本当に親身に教えてくれる。政治もしっかりいて、政府の援助が必要な時、国民はそれを受けることができる、非常にすばらしい国。	航空会社予約係	保健福祉、失業保険、多文化の地域社会、ホームレスに対する住宅援助、慈善活動、赤十字、救世軍、ゴミ拾い活動など。18歳以上の投票の義務（違反の場合は罰金がある）投票することは非常に大事である。それにより市民は、国を運営する大統領を選ぶことで公正な選択をすることになるから。	一年に2回	人と食べ物がとてもいい。ビールの自販機に驚いた。	はい。自分のルーツを誇りに思っている。	好きな場所	大好き。かわいく優しい家族の一員。